

## ■研修項目

### 地方議会における公会計情報活用の新たな針路

#### ・研修団体及び講師氏名

広島県市町議会銀政策研究会

講師：NPO尾道空き家再生プロジェクト 豊田雅子理事長

講師：広島県土木建築局住宅課 宮崎昌二課長

#### ・研修日

平成28年11月2日（水）9：30～17：00

#### 【研修目的】

NPO尾道空き家再生プロジェクトの豊田理事長が中心となり、2007年から空き家の再生に取り組んでいる。

尾道では、空き家の撤去とは違った空き家の再生という方向で、場所のニーズに応じた多様な再生でうまく行った例がたくさんある。その現場で最先端で再生に関わる方を講師に迎え現場報告をする。実際に歩いて回り、実感するため受講する。

#### 【研修内容】

9時30分から昼まで徒歩にて空き家再生エリアを視察。

まず始めに商店街にある「あなごのねどこ」からスタートした。この建物の再生に向けてのコンセプト・アイデアにおどろかされた。ここは、1割がインバウンド（外国人）の利用ということで、尾道にもインバウンドの波が来ていると実感した。

歩いていると呉より坂の道・車の入れない小道が多く老朽化した空き家が多く見受けられた。

今年7月にオープンした「みはらし亭」は、実費2500万円の出費とのことであるが、実際はボランティアを加算すると5000万円強になるとのこと。空き家再生は、学生・ボランティアが必要不可欠と感じた。

約9年の活動で80軒空き家を再生し、150名が移住したそうです。年齢は20代～30代がほとんどで、子供は30名いるとのことでした。

午後からは、NPO尾道空き家再生プロジェクトの豊田理事長の体験談をお聞きし、やる気が一番と感じました。

**【呉市での展開の可能性】**

呉市で考えると尾道との違いは、呉市は空き家が住居であったということ。尾道は別荘であった家が多い。呉市としてまずは、両城地区の2軒の空き家再生をもう一度ひもといて見ようと思います。

呉市としては、呉高専の学生との意見交換をして生の意見を聞き、施策に反映すべきと考えます。